

南阿蘇村議会だより

すいげん

みなみあその今と未来を発信

令和2年
11月1日発行

Vol.51

9月定例会

- ② 「コロナ対策臨時交付金を活用し予算化」 第3回定例会
- ④ 「経費削減等最大限の努力を」 決算審査
- ⑤ 「令和元年度主な事業」 3 常任委員会
- ⑦ 「ずばり村政を問う」 一般質問
- ⑩ 「臨時交付金どう使われる」 追跡レポート



ラストラン! 統合前最後の運動会 (白水小学校)

人権啓発標語：立ち上がれ 自分が変われば いじめもみんなも 変わる世界

南阿蘇中学校3年 井川 彩加さん

新型コロナ対策

一般会計の補正予算、8億8931万円追加し168億3764万円に

【令和2年第3回定例会】

9月定例会は9月3日から9月11日までの9日間の日程で開催され、令和元年度決算認定が9件、条例等の改正が4件、令和2年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算が6件、その他5件、発議1件、追加議案3件を審議した。

採決の結果、村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定については賛成6反対5で可決、その他の議案は全会一致で可決された。

常任委員会では、付託された決算認定や各議案について審議し、最終日に各委員長より報告があった。一般質問には3名が登壇した。

主な補正

中松小学校学校校舎改修・進入路整備工事	2450万円
白水統合小学校スクールバス導入	1000万円
小中学校電子黒板整備事業	5749万円
仮設住宅建設用地復元工事	7668万円
白水第2体育館屋根改修工事	5170万円
南阿蘇IT交流施設建設事業	4467万円
河川維持補修工事	3000万円
公共土木施設災害復旧工事	1億2630万円
敬老がんばる商品券関連	1297万円
償還金	2億3812万円

【第3回臨時会 7月6日】

議案	審議内容	審査結果
報告第6号	令和元年度株式会社あそ望の郷みなみあそ経営状況の報告について	報告済み
議案第73号	令和2年度南阿蘇村一般会計補正予算（第3号）議決について	原案可決
議案第74号	工事請負契約の締結について（統合白水小学校多目的ホール増築工事）	原案可決

臨時交付金を活用

(詳細は P10 ~ 11)



小中学校電子黒板整備事業 5749 万円



白水第 2 (旧白水中) 体育館改修工事 5170 万円



河川浚渫 (川後田地区等) 3000 万円



敬老がんばる商品券 1297 万円

村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について(議案 76 号)

令和 2 年 10 月 1 日から令和 3 年 3 月 5 日まで村長の給与を 100 分 15 減額、副村長・教育長を 100 分 10 減額する条例の改正。

質疑応答

太田議員 / 職員給与の減額も計画しているのか。

村 長 / 今のところ、そこまでは考えていない。

太田議員 / なぜ、村の条例通りに、報酬等審議会に諮問しなかったのか。

副 村 長 / 県知事の給与減額時にも、審議会に掛けていない。今回は財政改革に向けた村長の決意と自戒を示したもので、審議会に諮る必要はないと判断。

太田議員 / いかようにも解釈が出来る条例は、改正すべきだ。

反対討論

橋本議員 / 一刻も早く財政構造の転換を図る必要がある。特別職の減額効果は、約 170 万円で財政が好転するものではなく、選挙に向けたパフォーマンスとしか思えない。安易な減給より、村民の生活を守る決意と施策が重要だ。

賛成討論

工藤議員 / この 3 年半で、失敗した投資や事業があったとは思えない。すべての予算は議会の議決を経ている。足りない部分もあったかもしれないが、皆の総意で進めてきた結果だ。

採決の結果、賛成多数 (賛成 6、反対 5) で可決

令和元年度の全会計を慎重審議、全員賛成で認定！！ 経常収支比率*100.5%！引き続き義務的経費の削減等最大限の努力を望む。

※経常収支比率とは…地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減税補てん債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合。一般的に70～80%が適正水準といわれており、これを超えると、その地方公共団体は弾力性を失いつつあると考えられる。

例年9月議会は、前年度の決算審査が行われる為、「決算議会」とも呼ばれる。令和元年度一般会計（歳入）は総額で、173億1472万円となり、昨年度よりわずかながら減少した決算となった。歳出は総額で163億8220万円。地方交付税の合併特例措置の終了等を考慮して国の動向を注視しながら弾力性の向上に向けて経費節減へ最大限の努力をする。合わせて、自主財源の確保に努め、計画的に重点目標を設定し、政策遂行のための予算編成と経済効果等を慎重に検討していくべきである。

会計区分	歳入決算額 (前年比)	歳出決算額 (前年比)
一般会計	173億1472万円（-1億6664万円）	163億8220万円（+6984万円）
国民健康保険	17億8249万円（-514万円）	17億3697万円（-209万円）
簡易水道	3億649万円（-1億8303万円）	2億4987万円（+1億6812万円）
農業集落排水	4388万円（+887万円）	3902万円（-616万円）
生活排水処理事業	8678万円（-24万円）	8361万円（-48万円）
介護保険	16億4482万円（+2278万円）	15億5673万円（+2208万円）
住宅新築資金等	105万円（-23万円）	92万円（±0万円）
後期高齢者医療	1億5586万円（+213万円）	1億4423万円（+161万円）
上水道事業	3738万円（+1536万円）	3271万円（+651万円）

[監査委員意見書抜粋]

代表監査委員 長野文吉
議選監査委員 工藤保雄



代表監査委員
長野 文吉 氏

- 行政事務は、厳しい財政状況の中でも震災関連も含め計画された事業が適切に、また財政収支の均衡保持に留意し経費節減に努め、福祉・農業振興・土木・教育・消防などへの施策が着実に執行されていることは、高く評価に値する。
- 新規事業については十分な検討をされ慎重な取り組みを求めるとともに、**議会の議決を経て予算化されている事業について今必要なのか、少し先延ばししてもいいのでは等の再検討を行いながら執行されるべきではと考える。**
- 今後、財政が厳しくなると予想されるが、国、県の施策等も勘案し、議会、執行部がそれぞれの立場で活力ある村づくりを目指しての議論を深め、安心して心豊かに住める村づくりに繋がることを期待する。

付託された令和元年度決算の認定は、 総務・文教厚生・経済建設の常任委員会で慎重に審査

(◎が委員長、○が副委員長)

総務常任委員会 (9/4)

◎太田吉浩 ○丸野健一郎
山室昭憲 今村輝宏

総務課	税務課	政策企画課
産業観光課	復興推進課	会計課
議会事務局		

災害公営住宅 94 戸が完成。入居者への声掛け等で、地域コミュニティ構築の支援を。立野新駅整備は起債（借金）に頼らず、補助事業を取り付け、村の財政負担減を。コロナ禍で、国内観光客の呼び込み強化を。村の財政悪化を懸念する声多し。財政健全化に向けた取り組みを強く要望。

(表決結果)
全員賛成で、認定するものと決定

文教厚生常任委員会 (9/9)

◎橋本 功 ○工藤保雄
荒牧俊一 太田吉浩 栃原辰郎

健康推進課	教育委員会	住民福祉課
保育所	環境対策課	次世代定住課

不法投棄は委託に頼らず、職員対応がメイン。歳出削減努力を評価。子ども医療費助成の窓口負担なしから2年目。村負担が微増傾向に。地域おこし協力隊への質問集中。日常業務と起業目標のミスマッチがないよう強く指摘。減塩推進・村営塾を評価。白水地区3小統合は最優先で。

(表決結果)
全員賛成で、認定するものと決定

経済建設常任委員会 (9/10)

◎桐原純男 ○笠野真喜
後藤征昭 今村竜喜

農政課	建設課	

予算を繰り越して整備を行ってきた「そば乾燥調整施設」がついに完成。農地災害助成は 1515 件、総額で約 4 億円規模に。事業は元年度に終了。害獣捕獲後の処分、ジビエ等に活用できないかを提案。小規模住宅地区等改良事業は契約変更が多く、工事内容が過剰ではと疑問の声も。

(表決結果)
全員賛成で、認定するものと決定

令和元年度の主な事業

下西原第1団地 ①



② 下西原第2団地



長陽西部団地 ③



④ 馬立団地



災害公営住宅 (4 団地) 総事業費 24 億 6272 万円



第 1 回みなみあそ復興マラソン大会
総事業費 1341 万円



高野台防災公園
総事業費 2 億 1266 万円



そば乾燥調整・保管施設
総事業費 6100 万円

合同 常任委員会

定例会 7 日目（9 月 11 日）総務・文教厚生・経済建設の合同常任委員会を開催。上程された議案について執行部に詳細な説明を求めた。

令和元年度一般会計決算認定

木の香湯温泉、その後は

〈栃原議員〉

復旧が待たれる木の香湯、泉源の現況と管理は。

〈産業観光課長〉

更生工事ケーシングは 400m、湯温 48℃・200ℓ / 分である。ポンプは故障しているため、再建するまで業者のポンプを借りて管理している。

給与及び旅費に関する条例の一部改正

給与改正具体的内容は

〈橋本議員〉

給与改定は減額割合のみであった。具体的な数字で提示と、特別職報酬等審議会に諮問されていない理由は。

〈総務課長〉

村長 15%、副村長・教育長 10%の減額で 10 月から 3 月までは約 170 万円となる。よって 1 年間で約 340 万円である。

給料の額を改定するものではなく、減額するものであったので審議会による審議は行っていない。

令和 2 年度一般会計補正予算

中学校第 2 体育館管渠築造工事の説明を

〈笠野議員〉

管渠築造工事費 2154 万円の説明を。

〈教育委員会事務局長〉

第 2 体育館トイレの浄化槽が震災で破損していることが判明、よって同敷地内で処理能力のある浄化槽へ送水管を埋設し、処理させるための工事である。

集会施設等建設事業補助金とは

〈今村竜喜議員〉

応急仮設住宅を活用した施設はどのような再利用か。

〈復興推進課審議員〉

今回は第 8 駐在区の公民館として再利用される。村負担分は 16 分の 3、県負担は 16 分の 12、受益者負担は 16 分の 1 である。再利用計画は成果説明書に記載してある。

その他

あそ望の郷みなみあそ、その後は

〈笠野議員〉

集客数の推移と駐車場の入込状況は。今後の見込みと駐車場拡張が必要か確認したい。

〈産業観光課長〉

少しずつではあるが、当初計画より上向きである。

国道 57 号の現道が開通に向けて

〈丸野議員〉

震災から 4 年半、開通する現道でイベントの計画は。

〈産業観光課長〉

復興事務所と共同で小学生による桜の植樹を計画している。北側復旧ルートと同日に開通式典がある。



開通前の新大橋入口付近

新型コロナ関連事業について

〈今村輝宏議員〉

非常用備蓄食料、避難所の備品について説明を。

〈住民福祉課長〉

災害時の食料備蓄管理は 1,000 人の最低 3 日分を計画しており、震災時の備品は中央公民館に保管している。

その他の質問

〈橋本議員〉

- ・村長職期末手当は、内容を表記してほしい
- ・村道、震災遺構までの道路改良（補修）を
- ・阿蘇の玄関口、景観形成を

〈丸野議員〉

- ・B & G 大規模改修計画は

〈今村竜喜議員〉

- ・観光施設整備工事の説明を
- ・道路の表層改良も復旧と同じく進めてほしい
- ・財政状況が厳しいなか、事業推進の行方は

〈後藤議員〉

- ・地下水保全基金設置条例、内容を詳しく

ここが聞きたい

ずばり村政を問う！

一般質問は、会議録に基づき、質問者本人が編集し、議会広報特別委員会で構成し、掲載しています。詳細は、会議録の閲覧ができます。

常任委員会

一般質問



一般質問

ここが聞きたい ずばり村政を問う！

笠野 真喜議員

光回線・監視カメラの整備状況は

笠野議員

震災後の復旧・復興また新型コロナウイルスの影響か5年間事業が進んでいないのが光回線の事業だ。平成27年7月までに4億3千万円を使い基盤整備が終わっている。平成28年頃に1戸当たり5千円の導入補助金を利用し加入率が24%。現在の加入率はどれくらいか。

検討委員会が設置してある。どの様な検討がなされ具体的にどの様な事業が進んでいるのか。平成30年12月議会で一般質問した時、防災・福祉・産業・教育などあらゆる分野での課題の解決や地域活性化に向けた施策が重要と考えているとの答弁だった。どの分野で、どれくらい達成できたのか。

監視・防犯カメラは、学校・保育園など村の施設にどの位設置してあるか。またコンビニ等含め民間に設置してあるか、設置箇所は地図に示しているか。小中学生の通学時の監視や村民が安心安全に生活できる為にも村内を監視・防犯カメラで網羅する体制が必要だ。人権侵害と言われる方もおられるが、事件・事故のスピード解決化、

交通量はもとよりデータ収集にもなる。また、ライブカメラを展望所に設置し観光・教育に利用してはどうか。



村内事業所に設置された防犯カメラ

整備済みの媒体を有効活用する

政策企画課長

現在の光回線加入率は令和2年7月末現在で43%。令和元年度に設置した「行政情報システムのあり方検討委員会」で、情報システムの基本方針は「村民の安心、安全」「財政負担が少ない」「誰もが利用しやすい」の3つが示された。環境整備は光ブロードバンド、公衆無線LANを検討した。今後の環境整備は整備済みの媒体を有効活用する。公衆LANは平成30年に村内観光施設9カ月整備済み。今後は早い時期に避難箇所7カ所に計画。利用者数や財政状況などを勘案して公民館にも設置する。

設置検討をする

総務課長

監視カメラは、庁舎に6カ所設置してある。防犯協会では「南阿蘇村防犯カメラ設置支援補助金交付要綱」で現在16件24台に対して補助している。事業は今後も継続する。

監視カメラ以外では、道路情報カメラは村内に6カ所設置してある。今後の監視カメラ設置計画は、個人情報保護法の制約があり自由に取付けられないが、犯罪防止に必要な場所には検討する。



国道57号の監視カメラ



太田 吉浩議員

野焼き責任者はどうなった

太田議員

野焼き再開を妨げている課題解決に向けた取り組みを、昨年3月の一般質問で取り上げた。あれから1年半が経過した。①前回、被災した牧野道の復旧を「令和元年度にめどをつけたい」と答弁があったが、復旧は完了したのか。②担い手不足解消に向けて、「農業後継者の育成に取り組む」と村長は答弁したが、実行とその結果は。また前回、負担軽減の為に恒久防火帯設置・草原特区を利用した保安林解除を提案した。③その進捗と、責任所在は区長から村への移譲は進んだのか。

今後、村が責任を負う

農政課長

①県の支援で、昨年度、白川地区の牧道改修が完了した。今年度は長野牧野・下碓牧野の改修を計画している。

村長

熊本地震の影響で、37地区の内10地区、630haの原野で野焼きが中断されている。今年3月、県の支援で白川牧野をモデル地区に指定し、防火帯を整備。約80haで野焼きを再開できた。②作業負担の軽減を図るべく、恒久防火帯の設置は県と連携して推進したい。保安林解除は出来ないが、スギ・ヒノキからクヌギへの樹種転換を実施した。放牧農家の振興策も併せて行う。③これまで火入れ責任者だった地元区長は、現場監督に。今後は、村が責任を負う。

太田議員

7月の豪雨災害で県南地域に大きな被害が出ている。県頼みばかりではなく、国が指定した草原特区の恩恵を受けられるよう、国への要望活動で予算獲得を。

赤字運営が続く「乗り合いタクシー」の今後は

太田議員

本格運行から赤字体質が改善されない「予約型乗り合いタクシー」。①この事業の評価は。これまで議会からも業務改善を求めてきたが、②収支改善に向けて、どのような取り組みがなされたのか。村の財政悪化が明らかになり、行財政改革は待ったなしだ。③今後の運営方針は。

廃止を検討したい

村長

①事業経費に対して、利用料収入が1割程度と大変厳しい状況だ。この事業は試験的に始め、震災後のインフラ復旧までの代替策として本格運行を行った。現時点は臨時的な運行と認識している。②利便性を向上させ利用者を増やしたいが、タクシー事業者や他の公共交通への民業圧迫が懸念される。限られた区域や条件での改善しか出来ないが、乗降場所の検討を。経費を抑えるのは難しいが、区域を廃止し一律300円に値下げし、利用者を増やしたい。③交通インフラが復旧してきたので、乗り合いタクシー事業は廃止を検討したい。廃止後は、民間タクシーやバスの乗車補助に転換していきたい。



太田議員

多額の税金を投入しながら、簡単に廃止するのか。赤字体質にもかかわらず、運営を外部委託している。村直営で出来ないのか。この事業に限らず、村の外部委託体質が財政を圧迫しているのは明らかだ。

橋本 功議員



シルバー人材センターの充実を図るとは

橋本議員

高齢化と高齢者の交通事故防止対策は

- ① 1998年から始まった高齢者運転免許自主返納制度に、本村での自主返納現状は。
- ② この3年間、高齢者が関係した交通事故、人身、物損の発生件数は。
- ③ 運転免許を自主返納された方には、公共交通定期券助成や乗合タクシー利用券を検討されては。
- ④ シルバー人材センター会員募集は、年会費と入会金2千円を納めるようになっている。仕事は草刈り、除草、清掃等がある。組織の充実をどのように図るのか。

役場職員を派遣し法人化を目指す

総務課長

- ① 令和元年度は38名、本年は現在7名が返納。
- ② 交通事故の件数は990件、人身事故は60件、物損事故は930件で、65歳以上の交通事故が10件、物損事故は100件である。
- ③ 高齢者運転免許返納支援は実施していない。ゆるっとバス運賃を半額助成している。

健康推進課長

- ④ シルバー人材センター組織の充実を図るには、会員数と年間延べ就業人数を伸ばすことや、法人化して運営ができるように努力している。元年度登録会員数は24名で、就業延べ人数は944名、受注件数は218件、受注契約額510万円、国庫補助事業の受給要件は会員数100名以上年間就業延べ人数は5千人以上。この要件を満たすことを目標に組織の充実をめたい。



2期目の再選を目指すのか

橋本議員

- ① 公約の諸施策に対し、実績の評価と達成率は。
- ② 懸案事項の改革改善を断行された案件は。
- ③ 村づくりのビジョンで住みたい村、住んでよかった村、住み続けたい村は重点施策の公約に掲げた。結果報告をされるのか。
- ④ 木の香湯温泉の再建が二転三転して村民感情を損ねているが、再建延期の理由は。
- ⑤ 村長2期目の出馬について、再選を目指すされるのか。

多くの方からの激励により再選を目指す

村長

- ① 「熊本地震からの復旧復興」で公共土木災害復旧事業は94.2%、農地と農業用施設復旧は99.3%、災害公営住宅は4団地94戸が完成した。「情報公開」は、交際費やスケジュールをホームページで公開し透明性のある村政運営に努めている。総合計画の項目に照らし合わせると達成率は89.7%。「物づくりから人づくり」は、白水3小学校統合を来年4月開校に向けて進めている。さらに中学生を対象とした村営塾の取り組みも進めている。「再生可能エネルギーの推進」を掲げて、2グループの会社が地熱発電開発にチャレンジしている。
- ② 中松牧野の砂防ダム建設に伴う地元入会権に係わる分取配分、草千里の野焼き、グリーンピア南阿蘇施設の屋内テニスコートの環境整備は完了できた。
- ③ 就任直後に出張座談会を実施した。村政報告会はコロナ禍で中止しているが、広報誌やホームページで行っていく。
- ④ コロナ禍の影響で社会情勢が変り、いまだ経済や観光は好転していない。今後は公設民営やPFI（民間資金の活用）を模索し、企業が見つかり次第再建にかかる。
- ⑤ 次の村長選挙に立候補する。多くの方から激励の言葉を頂き、立候補への後押しとなった。



コロナ対策臨時交付金はどう使われる？

本年は新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、3月から小中学校の臨時休校や「道の駅 あそ望の郷」を始め、3つの温泉施設、また、多くの民間宿泊施設等が休業を余儀なくされた。そんな中、国より新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が交付された。そこで今回は、村独自の2次補正交付金の使い道についてレポートする。(1次補正分は「すいげん」Vol.50)

2次補正分 コロナ対応臨時交付金 (6月定例会及び7月臨時会補正)

所管	事業名称	事業の目的・効果	総事業費 (交付対象)
教育委員会	公立学校情報機器整備費補助金等	GIGA スクール構想に伴い児童生徒にタブレットを1人1台導入する経費	3189.8万円 (2920万円) 国庫補助 230万円 他 39.8万円
	学校からの遠隔学習の強化事業	学校が臨時休業中でも遠隔学習ができるための機器整備	429.6万円 (405万円) 国庫補助 10.5万円 他 14.1万円
	学校保健特別対策事業	学校が集団感染のリスクを避けるため保健衛生用品を購入する事業	624万円 (305万円) 国庫補助 311.8万円 他 7.2万円
産業観光課	宿泊支援助成金	低迷する村内観光業を支援し、観光客の誘致と地元消費の拡大を目的とする助成金	1200万円 (1150万円) 他 50万円
	持続化給付金申請業務委託	国の持続化給付金申請の迅速化を図るため	200万円 (190万円) 他 10万円
	休業支援給付金	指定管理施設の休業要請に伴う支援金	6000万円 (6000万円)
農政課	雇用促進事業	失業を余儀なくされた村民の生活維持及び農業者の労働力解消等を図るため賃金の一部を補助する	72万円 (70万円) 他 2万円
	出荷農家支援金	村の要請により休業した道の駅に農産物を出荷している農業従事者に対する支援事業	226万円 (200万円) 他 26万円
政策企画課	関東関西村人会 県外学生農産物送付	県外在住 (村人会・学生等) への支援及び村内農家への支援	110.4万円 (105万円) 他 5.4万円

(9月定例会補正)

所管	事業名称	事業の目的・効果	総事業費 (交付対象)
教育委員会	統合小学校スクールバス導入事業	コロナ対策として、統合小学校のスクールバスを増台する	1000万円 (950万円) 他 50万円
	小学校電子黒板整備事業	GIGA スクール構想に伴い学校が休業してもオンライン事業等を行うための整備事業	5748.6万円 (5700万円) 他 48.6万円
産業観光課	商工業支援金	売り上げが減少した事業者の新たな取り組みに持続化補助金交付	1000万円 (950万円) 他 50万円
	トロッコ列車予約システム導入	運休したトロッコ列車の集客に向けた予約システムの導入に対し補助金交付	150万円 (75万円) 県補助金 75万円
次世代定住課	移住・定住・就業促進事業	都市部から地方での生活・就業の支援を行う	849.5万円 (530.2万円) 他 319.3万円

所管	事業名称	事業の目的・効果	総事業費（交付対象）
健康推進課	臨時特別出産祝い金	特別定額給付金の対象とならない今年度出生した者に給付し出生者世帯の経済効果を図る	315万円 (300万円) 他15万円
	敬老頑張る商品券配布事業	行事等の自粛で外出機会を喪失した高齢者の外出機会を創出し、村内で経済効果を図る	1296.9万円 (1280万円) 他16.9万円
	必要物品供給事業	感染症蔓延で不足する関連商品の補填	52.1万円 (50万円) 他2.1万円
保育所	非常用備蓄食料	感染拡大により副食用食材搬入が一時的に停止された場合、備蓄食を保育所に備えておく	100万円 (90万円) 他10万円
政策企画課	中松小サテライトオフィス整備事業	廃校となる小学校をサテライトオフィス等として活用するための整備	2550万円 (2500万円) 他50万円
	庁内Wi-Fi整備	感染防止のためのオンライン会議環境を整備する	92.2万円 (80万円) 他12.2万円
総務課	サーマルカメラ等整備事業	村内で不特定多数の出入りが予想される施設等での感染防止策事業	700万円 (680万円) 他20万円
	避難所物品整備事業	避難所内の感染防止対策物品の整備	287万円 (280万円) 他7万円

この他にも次回議会で補正予定の事業（交付金対象額 3167.2万円）も含め、村ではこの新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（2次分約2億8000万円）を活用した対策事業を行っていく。

現在、1人1人が日常的にマスク着用、こまめなうがい、手洗いを心がける事等、新しい生活スタイルによりインフルエンザの感染者が昨年の1000分の1程度であり、感染症予防に有効だと考える。

議会活動

（1日も早い復旧を願って）義援金を届けました。

『令和2年7月豪雨』では4日に県南地域、また、6日、7日には阿蘇北部地域で甚大な被害をもたらしました。本村議会を代表して荒牧議長・山室副議長が8月11日に特に被害が大きかった小国町を訪問。

また、熊本地震の際、延べ380名の職員を派遣頂いた芦北町には10月2日に熊本県町村議会議員研修の際に“復興に役立てていただきたい”とそれぞれに義援金を贈呈しました。

今回の豪雨により被害にあわれた多くの皆様方にお見舞いを申し上げますとともに、1日も早い復旧・復興を祈念申し上げます。



写真右から2人目 松崎 俊一 小国町議長
右端 時松 昭弘 副議長



写真右から2人目 宮尾 秀行 芦北町議長
右端 草野 安道 副議長

村のがまだしモン^{NO.21}

本村で活動している
「※地域おこし協力隊」のメンバーをご紹介します。

※人口減や高齢化が進む地方で、都市部の人材の定住・定着を促し活性化を図る目的で、2009年度に創設。任期は最長3年で、年間の報酬と活動経費は、国から支給される。

神奈川県より応募

やまうち けんせい 山内 健正さん



生まれは熊本市、両親の転勤で多くの地域を回っていたとのこと。村には小学6年生の時、白水小学校に在籍していたそうです。今年結婚して白水地区に家を借りて子供1人の3人で生活されています。隊員募集は友人から聞いたとのこと。2年間長野県でマウンテンバイクの選手として多くの大会に参加した経験を活かし、観光に関わり、自転車の普及に力を入れたいと

思い応募されました。

隊員としての仕事は地域経営組織推進プロジェクト業務に従事し、村内でアウトドアイベント等の運営支援やレンタル自転車の運用環境の整備などを行っておられます。以前の経験を活かしマウンテンバイクの整備やアウトドアアクティビティのイベントの企画に取り組んでいます。3年間の隊員任期後を考えて、あそ望の郷のチャレンジストアを借りて自転車の修理、販売を始めたそうです。今後、自転車を利用される観光客が増えることを期待したいと思います。

(取材者/栃原 辰郎委員)

神奈川県より応募

くりした さだ ゆき 栗下 定行さん

神奈川県出身の栗下さんは、15年前に旅行で南阿蘇に来られています。その時の村の印象を聞くと、山が近く、雲が近い、こんな所は、北海道にも長野にもないと言われました。協力隊の事は、以前の仕事で庁舎など回っていたので知っていたそうです。地震で被災した地域の復旧に協力したい気持ちがあったので、村への移住を決めたとのこと。協力隊の仕事は、南阿蘇鉄道復興支援プロジェクトに従事されています。南阿蘇鉄道株式会社において、以前の建設関係の経験を活かし、鉄道運行に欠かせない、保全業務や管理に取り組んでおられます。協力隊員

としての任期は令和4年3月までですが、その後の希望を尋ねたところ、できればこの仕事を引き続きやっていきたいとのことでした。南阿蘇鉄道が再開して多くの方が乗車され、楽しんでいただけるように、1日も早い復旧を願っています。



(取材者/栃原 辰郎委員)

編集後記

今年の夏の暑かった思いも過ぎ、いつしか冬の気配を感じるこの頃です。コロナ禍でどこにも行けず、村内で美しい紅葉を見たり、穫れたての新米、季節の美味しい産物を食べていただけたかなと思った秋でした。

今年はインフルエンザ対策・コロナ対策と気が抜けない冬になりそうです。村民の皆様も健康管理に留意してください。

今期の議会だよりもあと1回の発行になります。皆さんが読みやすい紙面づくりを最後まで委員全員で頑張る所存です。 笠野 真喜

議会広報特別委員会

委員長 丸野健一郎
副委員長 太田 吉浩
委員 笠野 真喜
// 今村 竜喜
// 栃原 辰郎
// 今村 輝宏

発行責任者

議長 荒牧 俊一